

# 電子情報工学科 江口教授が 国際会議 ICISIP2017 において 基調講演を行いました



ヒルトン・ワイキキビーチにおける基調講演の様子  
 江口啓 教授（本学電子情報工学科）

9月7日(木)～12日(火)に、ハワイ・ホノルルのヒルトン・ワイキキビーチにおいて、社団法人 産業応用工学会主催の国際会議 The 5th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2017 (ICISIP2017 : <https://www2.iae-engineers.org/icisip2017/>)が開催されました。同国際会議において、本校工学部電子情報工学科の江口啓教授が、Keynote Speaker として基調講演を行いました。本国際会議においては、江口教授を含む4名の研究者(サンノゼ州立大学の M. E. Fayad 教授、ダッカ大学の Md. Atiqur Rahman Ahad 教授、ならびに、山口大学の Wu Ben-yao 教授)による基調講演が行われました。江口教授の講演題目は、「Design of a High Voltage Multiplier for a Non-Thermal Food Processing System Utilizing Underwater Shockwaves」です。本発表は、(公財)浦上食品・食文化振興財団の学術研究助成を受けて行われた研究であり、江口研究室の学生等と共に行った研究成果を纏めたものです。江口教授の研究は、高電圧放電によって水中衝撃波を発生させ、その衝撃波によって野菜や果物を破砕・加工するというものであり、通常加熱加工とは異なり、熱による栄養素の破壊が起こらないという利点があります。今後、学生等と共に、更に素晴らしい研究成果が出てくることを期待します。



Keynote Speaker  
 M. E. Fayad 教授（サンノゼ州立大学）



江口啓 教授  
 （本学電子情報工学科）